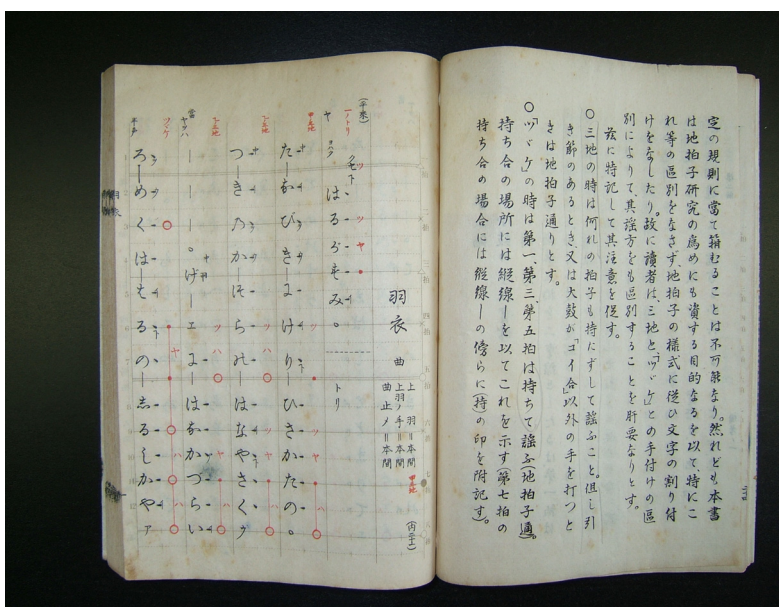
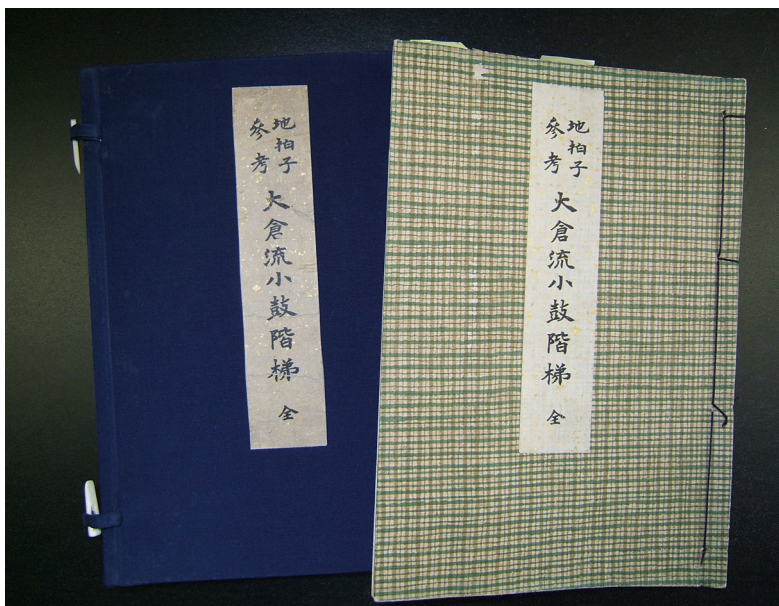


田崎延次郎 『地拍子参考 大倉流小鼓階梯』

著者は画家。謡だけではあきたらず、小鼓を学習したいという素人の希望に答えて編まれた入門書。鼓を打つためにコミを理解しなければならないことを説明し、楽譜上でもそれを「ツ」で示しているのが画期的である。写真下は、羽衣のクセであるが、八拍を示す横線の間が、五拍目までは三分割、それ以下は二分分割されておりもつともふさわしい位置に仮名が置かれる。これは田中正平の発案そして中島賢三（24頁）の書き方を踏襲したもの。



標題 内題…地拍子参考 大倉流小鼓階梯

標題紙…地拍子参考 大倉流小鼓階梯

全

奥附…

その他…地拍子参考 大倉流小鼓階梯（目次）、地拍子参考 大倉流小鼓階梯 全（題簽・帙題簽）

著者 奥附…田崎延次郎

出版 版次…第一版

出版地…東京・京都

出版年…大正7（1918）

形態 冊数…一冊十帙 頁数…二四丁十八〇丁

寸法…22×16（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 大倉喜太郎校閲。第一編「諸説」（二四丁）、第二編「小鼓の手法実修」（八〇丁）。